

地域ケア会議
「防災講演会」

”首都直下地震への備え方” 「逃げずに留まる！ 在宅避難のすすめ」

令和 6 年 2 月 3 日(土)飯山満公民館にて、二宮・飯山満地区地域ケア会議主催(二宮・飯山満地区社会福祉協議会/二宮・飯山満地区町会連合会共催)の防災講演会が、マンション防災士の「釜石 徹 氏」をお招きして On-Line で開催されました(参加者計 58 名)。

今年元旦には、最大震度”7”の「能登半島地震」が発生し、甚大な被害をもたらしました。私達が住む船橋でも、いつ大きな地震が起こっても不思議ではありません。

本講演会では、「首都直下地震への備え方」と題し、首都圏での直下型地震による被害の想定や備え、また、発生後の対応などについてご講演頂きました。

講演概要は以下の通りです。

(1) 「能登半島地震」の概要:

建物の耐震性や事前対策の重要性、地震発生後の停電、自主防災組織のあり方や発生時の心がけなどから講演が始まりました。

(2) 「首都直下地震における地域や自宅の被害想定」:

実際に地震が起こった時に、町はどうなってしまうのか。

(3) 「長期停電の原因となる火力発電所の被害想定」:

首都圏では東京湾沿岸に火力発電所が集中し、被害や復旧の状況により、停電が長期化する可能性。

(4) 「直下地震でも自宅でケガしない対策」:

家具転倒、ガラスの飛散防止、照明等の非ガラス化、簡易消火器具や停電時自動点灯ライトなどの事前対策の紹介。

(5) 「長期在宅避難に必要な食事、飲料水、

トイレの備え方」:

カセットコンロの使用法、災害時に適したポリ袋調理法と主食のローリングストック、トイレのゴミ量削減と臭い対策などの紹介。

(6) 「地域での防災関心度を上げるための施策」:

共助を活用して地域での防災力を上げておくことと、事前に各種ネットワークを構築しておくことが重要。

(7) 防災の目標は、「1: 自宅を最高の避難所にする」、「2: 防災対策を広めながら

知り合いを増やしてより楽しい人生を送る」ことと「まとめ」られました。

最後に、能登半島地震の一日も早い復興を願って講演が終了しました。

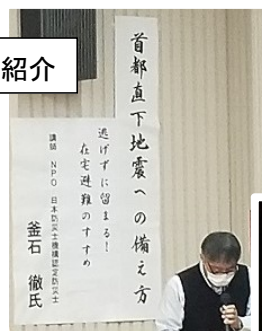
地震が起こらないことにこしたことはありません。しかしながら、発生した時に少しでも慌てることなく行動できるよう、日頃から準備をしておきたいものです。

また、参加者の皆さんから「能登半島地震募金」に多大なご協力を頂き、ありがとうございました。

(二宮・飯山満地区社会福祉協議会 生活支援コーディネータ(Co-SLEE) 塚本記)

<http://www.funabashi-shakyo.or.jp/area/home.php?id=41>

講演の紹介



釜石 徹氏



開会



釜石 講師



講演中



参加者の皆さん



質問も尽きません！



閉会

ボランティア募集中
(ご連絡をお待ちしております)

二宮・飯山満地区社会福祉協議会
船橋市飯山満町 1-950-3 飯山満公民館内
TEL 047-424-0294 / 047-424-0317

